

情 報 公 開 文 書

研究の名称	疫学調査「口腔がん登録」
整理番号	臨 29-157
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	山田慎一
研究の概要	<p>【研究対象者】2018年1月1日以降に、富山大学附属病院で、口腔癌と診断され、その口腔癌に対する治療歴がなく、当院で治療を行った患者さん（年齢、性別は問いません）」</p> <p>【研究の目的・意義】口腔がんの発生頻度、年次推移、地域差、病態、リスクファクター（発癌の危険因子）、病気の進行の程度や状態、予後（治療後の見通し）などを正確に把握し、将来の口腔がん研究のための基礎的資料とすることを目的としています。</p> <p>【研究の方法】対象者のカルテ記載からリスクファクター、癌に関する情報、予後調査を検証します。</p> <p>【研究期間】2018年5月1日～2027年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】関連学会にて本研究の成果を公表する予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>1) 患者基本情報 診断時年齢、性別、来院経緯、重複癌（他の部位に癌が発生しているか）の有無及び内容</p> <p>2) リスク因子 喫煙、飲酒、アルコールに対する反応性、慢性的刺激の有無</p> <p>3) がんに関する情報 診断日、初発/多発、発生部位、側性（左右上下の部位の特徴）、病理組織診断名、TNM分類（病気の進展度を示す分類） 病期、治療の有無、治療態度、治療内容（原発巣、頸部、遠隔転移）、原発巣の再建の有無およびその内容、pN分類（病理組織学的な転移の評価）</p> <p>4) 予後調査 経過観察結果（腫瘍の有無、生存の有無、重複癌の有無）を年に1回確認、登録します。原発巣の再発の有無及び確定日、遠隔転移の部位および確定日、重複癌の有無（部位）および確定日、最終観察日または死亡日とその時の病態（腫瘍の有無、生存の有無、死因） ACReSS を使用してデータセンターへ情報を提供する。</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>日本口腔外科学会「研修施設」および「准研修施設」 http://www.jsoms.or.jp/medical/specialist/list01/をご参照ください。</p>
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	<p>公益社団法人日本口腔外科学会 理事長：桐田忠昭 一般社団法人日本口腔腫瘍学会理事長：太田嘉英</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-454-7382 FAX 076-434-5041 E-mail sakurai@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 歯科口腔外科 櫻井航太郎</p>